

## 中学生の「税についての作文」

大川市長賞

### 「税の大切さ」

大川市立大川桐英中学校

三年 志 岐 潤 羽

私は右ひじをケガしていて、月に一回病院に受診しています。私はその中で疑問に思うことがあります。それは会計で支払う受診料がいつも一二〇〇円かそれ以下であることです。母に尋ねてみると中学三年生まではどれだけ診察してもらっても一二〇〇円以上はいかないということを教えてもらいました。詳しく調べてみると、子ども医療費支給制度というものがあると知りました。医療費支給制度のおかげで医療費のほとんどを保険や税金で負担してくれていることを知りました。

両親にこの話をすると、昔はほとんど自己負担で医療費は高かったことを教えてもらいました。今の自分があるのは、税金の支えがあつてこそだということに感謝しなければいけないと思いました。

子ども医療費制度は、税金からきているため納める人がいなければなりません。現在、日本では少子高齢化が進んでいるため、医療費が増える一方、税金を納める若い人が減ってきているため、財政が苦しくなつて行くかもしれません。そのため、これから消費税など納める税金が高くなつていくで

しょう。

また、日本ではすこしのことですぐ病院に行っている人が多いそうです。重い病気にかかっている人の治療がおくれてしまうことにもなり、税金が無駄に使われてしまうことにもなります。

税金を無駄に使わないためにも、税金はどこで使われている、税金がなかったら医療費はどれだけかかるのかを、一人一人が考えてみるべきだと思います。私は消費税でしか税を支払う機会がありませんが、これから消費税が上がつても自分たちのためにしっかりと納めていきたいです。健康で豊かな生活をおくるためにも、みんなが公平に税を負担し、みんなが公平に助け合える社会になれば、未来はもっとよりよいものになると思います。これからも税について関心を深め、よりよい社会をつくつていきたいです。

